

令和元年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報								
事務事業名	015 タウンミーティング、学生懇談会							
戦略プラン					担当部課 係名	市長公室広聴室		
総合戦略					新規・継続	継続		
					事業分類	任意的事務		
予算科目	01-020104-11 広報広聴活動に要する経費				市民参加	<input checked="" type="checkbox"/> 共有、理解 <input type="checkbox"/> 企画・立案、計画 <input type="checkbox"/> 実行 <input checked="" type="checkbox"/> 評価・検証		
要求区分		事業期間						
個別計画								
根拠法令					事業体制	職員のみ		
					市長公約	5		
概要								
事業の目的				事業の概要				
市民第一の市政実現のため、市民と市長が直接意見交換できる機会を設けることにより、市民に市政を身近なものとして感じてもらうとともに、市民の意見を今後の市政にいかしていく。				・市長と市民の直接的なコミュニケーションの機会としてのタウンミーティングの開催 ・市長が市内6地区に出向いて実施する地区別タウンミーティングのほかに、市内全域を対象としたもの等も開催 ・大学生に市政への理解・関心を深めてもらい、学生ならではの意見を聴取するため、学生懇談会を開催（筑波大学との協働事業） ※行政改革アクションプラン「79 広聴機能の強化」該当事業				
評価								
事業計画				活動実績				
・地区別タウンミーティング：市内6地区で各1回開催 5月19日：筑波、5月26日：谷田部、6月1日：大穂、6月15日：豊里、6月22日：桜、7月6日：茎崎 ・8月3日 中高生向けタウンミーティング ・9月30日 学生懇談会 ・商業施設等におけるタウンミーティング：10月頃（調整中） ・市内全域向けタウンミーティング：1～2月頃（時期未定）				・地区別タウンミーティング（5/19：筑波、5/26：谷田部、6/1：大穂、6/15：豊里、6/22：桜、7/6：茎崎） ・中高生向けタウンミーティング：8/3 ・市長と筑波大学学生との懇談会：9/30 ・市長が登場！まちづくりトークinイースつくば（商業施設でのタウンミーティング）：10/20 ・市内全域向けタウンミーティング：1/19 ※毎回、参加者へのアンケート調査を実施し、その結果を事業成果の振り返り等に活用した。				
成果				課題				
▽各地区の地域課題や住民の意見・要望等、また学生ならではの意見・提案等、まちづくり推進において参考とすべき多岐に渡る情報を聴取できた。▽SDGsや市の主要施策、策定中の「未来構想」等について参加者の理解を深めることができた。▽市長と参加者の直接的なコミュニケーションを通じ、参加者が市政をより身近なものとして認識する効果が得られた。				▽参加者は60代以上の高齢者層に偏っている。▽従来のタウンミーティングとは異なる内容・進め方等を求める声も出てきている。▽従来型タウンミーティングの参加者数は全体的に減少している。その一因として、各種ワークショップや勉強会、未来構想キャラバン等、市民が市政に対して意見・提案できる機会が他にも増えたことがあると考えられる。				
改善目標（R02年度にむけて）								
・引き続き、タウンミーティングの認知度をより高め、比較的若い世代や市政への関心が薄い層の参加意欲を促すような内容・周知方法等を検討する。 ・従来どおりの形式とは異なるタウンミーティングのあり方を求める声を参考に、特定のテーマについて意見交換する会など、異なる形式のタウンミーティングの実施について引き続き検討する。								
指標の推移								
1	指標名	タウンミーティング参加人数（人）					活動指標	
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	300.0	300.0	0.0	300.0	320.0	340.0	360.0
	実績	149.0	0.0	120.0	269.0	301.0	302.0	0.0
	指標の概要	タウンミーティングに参加した市民等の合計人数						
2	指標名	学生懇談会参加人数（人）					活動指標	
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	50.0	50.0	0.0	40.0	40.0	40.0	40.0
	実績	32.0	28.0	39.0	17.0	30.0	33.0	0.0

	指標の概要	「市長と筑波大学学生による懇談会」に参加した学生の人数						
3	指標名	タウンミーティング参加後に市政に親近感が感じられた割合 (%)					成果指標	
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	62.0	63.0	64.0	66.0
	実績	0.0	0.0	0.0	79.0	81.0	80.8	0.0
	指標の概要	参加者アンケートで「タウンミーティングに参加して、参加前と比べて、市政が身近なもの・親しみやすいものと感じられましたか」の間に、「感じられた」又は「どちらかといえば感じられた」と答えた人の割合						
4	指標名	学生懇談会参加後に市政に親近感が感じられた割合 (%)					成果指標	
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	80.0	80.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	100.0	0.0
	指標の概要	参加者アンケートで「学生懇談会に参加して、参加前と比べて、市政が身近なもの・親しみやすいものと感じられましたか」の間に、「感じられた」又は「どちらかといえば感じられた」と答えた人の割合						
5	指標名							
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							

コストの推移							
項目			平成30年度 (決算)	令和 1年度 (決算)	令和 2年度 (当初)	令和 3年度 (当初)	
財源内訳	国庫支出金	(千円)	0	0	0	0	
	県支出金	(千円)	0	0	0	0	
	地方債	(千円)	0	0	0	0	
	その他	(千円)	0	0	0	0	
	一般財源	(千円)	338	287	0	0	
事業費計		(千円)	338	287	0	0	
人件費内訳	正職員	従事割合 (人)	0.50	0.60			
		時間外勤務 (時間)	318.30	228.50			
	臨時職員等	(有無)	無	無			
人件費		(千円)	4,319	4,803			
事業コスト		(千円)	4,657	5,090			

R02年度当初積算根拠							
-------------	--	--	--	--	--	--	--

予算の方向性	理由						
--------	----	--	--	--	--	--	--

方向性							
市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。					
市民ニーズと今後の見込み							
進捗状況	4	計画通りに進めることができた。					
事業が計画的に進んでいるか							
市の関与	2	今後も市が実施するほうがよい。					
行政が関与する必要性について							
優先度	2	継続して実施する必要がある。					
事業の優先度はどうか							

	指標の概要							
3	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
4	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
5	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							

コストの推移						
項目			平成30年度 (決算)	令和 1年度 (決算)	令和 2年度 (当初)	令和 3年度 (当初)
財源内訳	国庫支出金	(千円)	0	0	0	0
	県支出金	(千円)	0	0	0	0
	地方債	(千円)	0	0	0	0
	その他	(千円)	0	0	0	0
	一般財源	(千円)	95	151	0	0
事業費計		(千円)	95	151	0	0
人件費内訳	正職員	従事割合 (人)	1.50	1.40		
		時間外勤務 (時間)	40.50	41.00		
	臨時職員等	(有無)	無	無		
人件費		(千円)	10,687	9,598		
事業コスト		(千円)	10,782	9,749		

R02年度当初積算根拠						
-------------	--	--	--	--	--	--

予算の方向性	理由	
--------	----	--

方向性		
市民ニーズ	5	十分に高く、今後も増加が見込まれる。
市民ニーズと今後の見込み		
進捗状況	4	計画通りに進めることができた。
事業が計画的に進んでいるか		
市の関与	2	今後も市が実施するほうがよい。
行政が関与する必要性について		
優先度	2	継続して実施する必要がある。
事業の優先度はどうか		